



第 407 回 例 会

1967.6.20 (火) 晴

例 会 場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や (2) 0707・2838

事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775番

A BETTER WORLD THROUGH ROTARY (ロータリーでより良き世界を)

出席報告

本日の出席	会 員 数	61名
	出 席 数	47名
	出 席 率	77.05%
前回の出席	前回出席率	77.05%
	修正出席数	54名
	確定出席率	88.52%

欠 席 者 張君、長谷川君、八丁目君、小池君、松田君、森田君、大竹君、大野君、佐藤(仁)君、鈴木(昭)君、菅原君、高橋君、津田君、辻君

メッセージ

石黒君、海東君、三井(賢)君、佐藤(忠)君—鶴岡西RC
五十嵐(三)君—金沢西RC
五十嵐(一)君—新潟南RC
齋藤(栄)君—新潟RC

ヒンター

荒生春吉君、佐藤源治君、後藤勇君
—酒田RC
広田勇一君—山形西RC
林田好弘君—京都南RC

ソング

それでこそロータリー
リーダー 三井(健)君

司 会

会長 早坂源四郎君

◆ 会長報告 早坂源四郎君

① 交換学生アイリーンさんが札幌RCの永井さん(三

井君の友人)の招きにより6月10日~17日迄1週間三井君の奥さんと一緒に北海道に旅行しました。札幌RCはご存知のように間崎バストガバナーの処で同じ交換学生ナンシーさんもおりますのでアイリーンさんも楽しく過ごされたようです。札幌は教育、文化の中心地でもありますので色々と勉強された事と思います。

② アイリーンさんも7月14日欧州経由で帰りますのでその送別会をクラブ家族会形式で開催致したいと思っておりますので御賛同願います。……7月1日(土)午後5時30分より、於商工会議所ホール

◆ インターアクト委員会報告 三井徹君

8月5日~6日に青森市に於て東北インターアクト大会(ホストクラブ~青森東高校インターアクトクラブ)が開催されます。8月4日前夜祭には十和田湖畔でキャンプ・ファイヤーや訓練が行なわれます。

鶴岡西高校インターアクトクラブとしては鶴岡西RCの協力を得て会員10名と顧問教師1名が出席の予定です。RC会員の参加も望んでる様ですのでよろしくお願ひします。(参加申込メ切6月30日)

◆ 交換学生アイリーン北海道見学報告

今、アメリカのロータリー第717地区から交換学生が5人日本に来てます。九州に3人、札幌に1人です。勿論九州にも行きたいですが時間(日程)がありませんので出来ないようです。しかし北海道は近いのでスケジュールが出来ました。

三井先生の奥さんと一緒に出かけました。青森から十和田丸に乗り函館に行き、直ぐに登別温泉に行きました。登別の地獄谷、アイヌの部落はとても珍しかった

です。北海道の景色～牧場や広々とした農場等、私の
処（ニューヨーク州）と似ておりますのでホーム・シ
ックになりました。次の日は洞爺湖温泉に行きまし
た。湖は大へんきれいでした。それから昭和新山（火
山）を見て札幌に行きました。

札幌では友達（交換学生）と一緒に歩きました。札幌
RCの例会にも出ました。その時、アメリカの札幌領
事クラークさんと会いましたがクラークさんは札幌に
10年も居りますので、日本語はすばらしいです。うら
やましく思いました。

一週間本当に楽しかったです。…… 此度九州から交
換学生ジャネット・ミラーさんがきますのでよろしく
お願いします。どうも有難うございました。

◆ インドに使用して 小花盛雄君

ニース大会の帰途立寄りましたインドのお話を致しま
す。インドに行った目的は、今年から始まりました第
353地区の国際社会奉仕の仕事の関係で500万を越ゆる
インドの結核防遏に出来るだけの事をしてあげたいと
云う事で兼子ガバナーの委嘱を受け参ったのです。

事前に日本の結核予防会の岩崎会長の御紹介でインド
の結核予防会のドクター、ボルジャー氏に必要事項に
つき連絡しておいたのです。又ボルジャー氏の出身地
マドラスのRC会長スプラ・マニアン氏（ドクター）
にも連絡しました。同じRC会員なら国際社会奉仕の
事も理解してくれると思ひ出発前にその意向をお伝え
したわけです。それから海外技術協力事業団や色々な
処でインドの事を調べたところ、インドと云う国は私
の今まで考えていた処ではないと云う事が解りました。
或る意味では非常に気位が高いと云いますが、単
的に云うとノーベル賞受賞者が数人も居るとか云う国
柄であり仲々うまくいきそうでないと云う事です。

今までも教ライの仕事とか、レントゲン集団検診等
でも、色々別の問題があったようです。もう少しイン
ドの事をアドバイスして戴こうと思ひ、出発10日程前
に、世界各国をまわり、インドにも時々行っている日
高一輝君（旧制山高同級生～彼は文科）に会い色々
聞きました。彼は大統領や首相とも親しくて、よく会
っていると云うことでした。パトナという処には家族
同様にしてくれる方が居りヒタミ・ダスグプタという
名前迄もらっているそうです。パトナには献身的に社
会奉仕の仕事をしている方々が居るから是非会ってほ
しいと云われました。

先づインドに行ってニューデリーのドクター、ボル
ジャー氏に会いました。ホテルに着いたら手紙が来て居
り、迎えに行くからということでした。そこから結核
予防会を尋ねたわけですが、さすがインドは官僚第一
主義でも申しましようか入口には衛兵が居り敬礼し
てました。

英語のよく出来る池袋RC元会長の寺田さんと一緒に
ボルジャー氏と色々話し合い、インドに於ける結核予
防の実態について表や図を示し乍ら説明してくれまし
た。

インドでは日本の光学機械を非常に高く評価して居
り集検レントゲン用キャノンカメラと低電圧用蓄放式レ
ントゲン装置（僻地でも使用可）を買いたいと云って
ました。しかしインドのお金（ルピー）は国外では通
用しないという事を日本から行っている商社マンに聞
かされ、ここにも色々問題のあることがわかりまし
た。

さて、マドラスRC会長スプラマニアン博士の勤務し
ている病院は結核の技術者を養成しているそうです。
日本の様にレントゲン撮影をやって影があれば精密検
査をやる方法ではなく、インドの結核診断は結核菌を
つかむことによって判定するという事です。勿論イン
ドの場合5億の国民をレントゲン撮影するのは設備
その他の問題から不可能です。そこで先づ咳をする人
の痰を顕微鏡でしらべるわけですが、顕微鏡も又、そ
の技術者も少いということ。マドラスの病院には
技術者養成センターがあるが顕微鏡が足りないの
で送って戴けるなら喜んでお受けしたいという事
でした。第353地区としては、レントゲン装置と
キャノンカメラについては色々な問題があります
ので関係各方面に広く呼びかけて実現出来
ます様に東京の方とも折衝して見ようとも考
えています。顕微鏡については一応ガバ
ナーも諒解してましますので今度大館で開
催される協議会の前夜の会談に語り方
向づけをしたいと思っています。

（以下略）

◆ 幹事報告 笹原桂一君

第353地区年次大会 9月22日～9月24日

仮申込み 7月10日迄

例会変更

酒田RC 6月28日（水）相馬屋 12.30→5.30

上山RC 6月23日（金） 12.30→3.30

古川RC 6月30日→6月25日

仙台精養軒 3.30

会報到着 台南RC、鹿児島西RC、本荘RC

スマイル

金井君 全国銀行協会評議員に選任
県内銀行協会ゴルフ大会優勝

荒明君 交通功労運輸大臣表彰

献立